

令和4年度 神戸市立図書館 事業評価

令和5年8月
神戸市立図書館協議会

令和4年度神戸市立図書館事業評価

神戸市立図書館協議会は、事務局から提出された令和4年度の図書館サービスの自己評価について協議を行い、「令和4年度 神戸市立図書館事業評価」として公表する。

令和4年度 of 取組項目と具体的取組及び評価項目

<p>評価の基準</p> <p>A：計画どおり実施し、一定の成果があった</p> <p>B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った</p> <p>C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった</p>

※「**ア**」印＝「コロナ時代に開催するための工夫」 【**内**】＝利用者の感想

取組項目	具体的取組
1 資料の充実	
(1) 学習拠点としての資料の充実	<p>・ビジネス支援関連図書や支援コーナーの充実</p> <p>中央図書館のビジネス支援コーナーでは、『東商信用録』『業種別審査事典』等、高価で利用の多い資料の最新版を取り揃え、法律・判例、新聞・雑誌等の検索データベースを設置、起業関連のチラシ・パンフレットを配布するなど、常に最新の情報を提供している。貸出可能なビジネス書は、ワーストリーダーをもとに毎年更新を重ね、令和4年度は『最新住宅業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』『BtoB 広報最強の攻略術』『スポーツビジネスロー』等を購入。</p> <p>・電子書籍の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末時点のコンテンツ数 4,621点（令和3年度末 4,459点） 貸出者数 20,622人 貸出冊数 38,920冊（前年比86%） ・田辺聖子、司馬遼太郎、陳舜臣、藤沢周平、池波正太郎、小松左京、筒井康隆など、中高年以上になじみ深い作家の作品を積極的に購入し、年配層の電子図書館利用促進を図った。 ・芥川賞や直木賞受賞作品を購入、「青空文庫」以外の文芸書を充実させた。 ・2種の児童書の読み放題パック（「講談社 朝読おすすめ50点パック」「KADOKAWA『角川つばさ文庫：厳選朝読おすすめ』50点パック」）を購入。 ・電子図書館を初めて使われる方にも選びやすいよう特集を増やす、借りられていない資料を目立たせる等の工夫を加えながら、トップ画面がいつも新鮮であるように心がけた。 <p>・オンラインデータベースの充実(西)</p> <p>新西図書館への移転時に、国内最大級の辞書・事典サイトである「ジャパンナレッジ Lib」を導入。児童の調べ学習や一般のレファレンスにも役立てられており、定期的な利用も見受けられる。【辞書を調べるのは大変、良いものがありますね】</p> <p>ジャパンナレッジ Lib 収録資料：「日本大百科全書」「日本国語大辞典」、科学分野の専門事典、「日本統計年鑑」「日本国勢図会」等の統計類、雑誌は「会社四季報」「週刊エコノミスト」、また「東洋文庫」「新編 日本古典文学全集」など</p>
【図書館の自己評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい予算の中、公共図書館として各分野のバランスを維持しつつも、テーマを絞った資料収集を行った。 ・電子図書館は、新たな特集を組むなど、情報をこまめに入れ替えることで、限られた数のコンテンツでも、飽きがこないよう工夫したが、利用数は前年度の9割弱であった。児童書の「読み放題パック」は複数同時利用が可能で、家族や友人と一緒に

楽しむことができるため、電子図書館の新たな魅力となる。図書館見学やイベント時などには、積極的にPRを図りたい。
・西図書館には計画していたオンラインデータベースを導入することができた。

【図書館協議会の評価・意見】

・電子書籍の選書に関して、中高年層の電子図書館利用促進を図るなど工夫が見られることは評価することができる。また、児童書の読み放題パックを購入したことも、高く評価できる。・しかし、その一方でYA世代や20代へのアプローチが弱いのではないかと危惧する。なぜなら公共図書館がその世代にとっての社会的インフラになっていなければ、今後の展開は見込めない。どのようなコンテンツが必要かを当事者に聞くところから始める必要がある。・コンテンツ数4,621点となっているが、そのうち「自動音声読み上げ」が可能なタイトルはどれだけあるのか。「読書バリアフリー法」第3条では「アクセシブルな電子書籍等」として「音声読み上げ対応の電子書籍」が規定されている。また、2023年上半年第169回芥川賞受賞作品『ハンチバック』において市川沙央氏は「電子書籍を貶める健常者は呑気がいい」と鋭く批判している。「市民に提供している音声読み上げ機能付きの電子書籍のコンテンツ数が日本で最も多いのが神戸市立図書館」という目標掲げを提案する。

・全体的に十分な取り組みをしているものと評価できる。まず、ビジネス関連図書、資料では、大型書店に行かなくても、ここに行けばすべてを調べられるといった充実化が図られていると思われる。また、啓蒙的なビジネス書については、内容の信頼性品質が多様なので、専門家のチェックを受けながら今後も充実していただきたい。さらに、電子書籍やオンラインデータベースも避けて通れないで、市民が利用しやすいようにハードルを下げての利用拡大を図っていただきたい。

・厳しい予算の中で工夫して資料をそろえようとしている努力は感じられる。電子書籍のコンテンツ数、貸出冊数があまり変化していないのは気になる。もう少し力をいれてもいいのでは。

・高価で手に入りにくいビジネス支援関連を取りそろえたという事で、今の時代に即しており地域の方々の就職や起業の支援は重要だと思いました。電子書籍の充実、オンラインデータベース等ニーズに合った物を取りそろえており、素晴らしいと思います。

・電子書籍が充実してきていることを利用者に広報する工夫が必要かと思いました。電子書籍の児童書が複数同時利用できるのがいいと思いました。読書会などにも利用できるのではと思いました。

・電子書籍のニーズは今後高まってくると予想される。利用者の割合が前年度から減っているとはいえ、今後の利用者の動向を注意深く見ていく必要があると思われる。児童書の「読み放題パック」は画期的な取り組みだと思う。

・電子書籍の所蔵点数が増えたのは喜ばしい。図書館に行かなくても貸出・返却ができ、文字の拡大も自由で高齢者には重宝である。だが、利用のガイドを読むだけで高齢者が使いこなすのは難しい。ホームページの「神戸市電子書籍館」の表示が小さく、分かりにくい場所で目立たない。「ご利用ガイド」は懇切丁寧だが、使用する前に難しく面倒な印象を与えられる。一番簡単なお試し方法を「かんたんトリセツ」で説明し、まずは気楽に電子書籍の利用体験をしてもらおう。次に詳細な「使いこなすトリセツ」で紙媒体とは違う便利機能などへ進み、最後に困った時の「Q&A」というよう分けて説明できないだろうか。高齢で文字を読むのが困難な方は多い。読み上げ機能のある資料を障がいのあるなしを問わずに使えばよいと思う。著作権や使用頻度による課金など、難しい問題があるのだろうが、積極的に検討願いたい。図書館OPACで検索できない資料は、利用者に開かれた資料とは言い難い。他市の例だが、ホームページのメニューのトップにある簡易検索で作者などキーワードを入力すれば、「図書」「電子図書」「デジタルアーカイブ」がすべて表示される。そうすれば利用が広がるのではないか。・「ジャパンナレッジLib」導入は素晴らしい。大いに宣伝して利用してもらいたい。「貴重資料デジタルアーカイブ」が素晴らしい。手間も費用もかかることだが、進めてほしい。3の他機関との協働に繋がる意見で、今すぐに取り掛かれることではないが、博物館や美術館と協働して、元気なデジタルOBと在野の古文書研究家を誘うことができないだろうか。翻刻の技術の養成講座でボランティアを育てることもできれば、自前のデジタルアーカイブを作れる。(参考：デジタルアーカイブ福井)

評 価

A

2学習機会の提供

🏠 令和3年度に引き続き、感染症対策（定員の削減や会場の変更、実施時間の短縮、実施者・有効な場面でのマスク着用等）を施した上で、一時中断していた利用者参加のイベントも実施した。（他の項目も同様）

(1)仕事や地域活動に
役立つ情報・機会の提
供

イベント開催数 18回
参加人数 281人
展示の回数 64回

・講座、講演会、展示の実施

・その他イベントの実施

◆仕事・地元企業

ビジネス講演会「起業(ゆめ)を形に 2023-創業する前に知っておきたいこと-」(中央)

2/22 12人 田村直哉氏(日本政策金融公庫 神戸創業支援センター所長)

「創業する前に知っておきたいこと」日本政策金融公庫による資料展示(中央) 1/31~2/28

「東灘区の企業にふれよう」講演会(東灘)

「なぜ灘五郷は日本一の酒どころになったのか」10/30 17人 高橋俊成氏(菊正宗酒造株)

「航空機をルーツとしたユニークな事業展開-US-2型救難飛行艇開発秘話-」12/11 28人 石丸寛二氏(新明和工業株)

【世間の役に立つという新明和の皆さんの心意気に感銘を受けました。日本の技術レベルの高さは改めて感動しました。】

「色彩心理学を取り入れた自分らしさの伝え方」(北) 2/23 4人

飛鳥電子(株)キャリアスクールあすかとの連携による、色彩心理学を取り入れ、アピール方法などを学ぶ就活スキルアップセミナー

◆地域活動

「土砂災害防止パネル展」(東灘) 6/7~6/14

「おかえり、記憶の街」(灘) 11/5 5人

震災前のJR六甲道駅付近の建物オブジェを元に、どこに何があったのかを復元していくイベント。令和3年度に続き4年度も開催。

「阪神淡路大震災から28年 震災関連資料展示」(新長田) 12/1~12/28

「住吉川絵画コンクール受賞作品展示」(東灘) 10月~12月

「海洋ゴミ問題ワークショップ」(須磨) 8/11・12/18 計45人

「ひろせみほ・絵本「5さいのぼうさい」イラストパネル展示」(兵庫) 12/10~2/26

◆地域の歴史

“地域歴史講演会”(東灘)

「平生夙三郎の社会貢献~明治・大正・昭和の住吉村」

前田康三氏・内田雅夫氏(住吉歴史資料館事業推進委員)、大澤篤(兵庫県立大学) 4/3 15人

「住吉村の近代 酒造業の発展と水車精米」大澤篤(兵庫県立大学) 9/11 15人

「図書館貴重資料に見る“こうべ”」出張講座(中央) 7/21 20人

郷土資料担当者が「デジタルアーカイブズ」を用いての資料紹介と解説。参加者から思い出話など昔の神戸の様子を聞く等のコミュニケーションも有意義だった。

「パネル展示 神戸の標石・石仏」(東灘・灘・新長田・須磨・垂水) 7月~10月

神戸アーカイブ写真館所蔵の写真パネルを各区ごとに展示。

◆健康・福祉

「自殺予防週間関連展示」9月(西以外の全館)「自殺対策強化月間関連展示」3月(全館)

「認知症関連展示」(中央・東灘・灘・三宮・北・北神・新長田・須磨・垂水) 9月

「障害者が地域で暮らすこと@兵庫図書館 vol.4 展示編」(兵庫) 12/1~12/15

障害者が地域で普通に暮らすことの意味や意義を関連本と映像を使って紹介。

「スマイルプロジェクト 2023「世界ダウン症の日 to つながる展」」(兵庫) 3/5~3/31

MomLabo(ママラボ)主催の兵庫区制90周年記念地域協働事業(ダウン症を知ることで見えてくる多様性の受容をテーマに区内各所で取り組みを実施)図書館は「読んでつながる」を題材にした関連本とメッセージパネルを展示。

「ビブリアキッチン with 青空青果市」(名谷) 3/10 145人 於:名谷駅前広場

	<p>管理栄養士による旬の青果の栄養と効果についての解説、広報誌「ビブリアキッチン」バックナンバーの配布</p> <p>「健康講座「まちの保健室」」 (垂水) 9/14 8人 兵庫県看護協会講師による熱中症に関する健康講座 (東灘) 6月・10月・12月・2月 計4回 53人 兵庫県看護協会が主催する「まちの保健室」の拠点としてロビーの一角を提供。 図書館は図書館利用案内の配布や健康・子育てをテーマにミニ展示を実施。</p> <p>◆教育 「教科書展示会」(中央・東灘・灘・兵庫・北・北神・新長田・名谷・西) 6/17～7/2</p> <p>◆世界情勢 「ロシアとウクライナ」展示(中央) 4/27～6/1 侵攻から2か月間のロシア・ウクライナ情勢、ウクライナの概要、救援情報についてのパネル展示と、問題の背景や両国の政治・歴史・文化についての本を展示・貸出。 「平和って…」資料展示(垂水) 4/29～5/8 ウクライナの昔話の絵本、ロシアの昔話の絵本などを展示。 「ウクライナを知ろう ロシアを知ろう」資料展示(新長田) 5/1～5/31 「国境なきマトリョーシカ展」(兵庫) 10/1～10/30 地元在住の画家高濱浩子氏が発起人となって企画開催した「国境なきマトリョーシカ展」の巡回展示。ロシア・ウクライナ両国の民芸品であるマトリョーシカに思いと願いをこめて、8歳から83歳までプロアマ問わず17組が絵付けしたマトリョーシカをガラスケースに展示。 「耳から楽しむおはなし会2 絵本で旅するロシア・ウクライナ」(兵庫) 10/15 ロシア・ウクライナ両国の絵本史、文化に触れながら絵本を紹介。合わせて、絵本「おおきなかぶ」の一節を両国の言語で一緒に読んだ。 「絵本で旅するロシア・ウクライナ」展示(兵庫) 10/18～10/30</p>
<p>(2)生活の質を高める情報・機会の提供</p> <p>イベント開催数 245回 参加人数 8,520人 展示の回数 548回</p>	<p>・講座、講演会、展示の実施</p> <p>・その他イベントの実施</p> <p>◆図書館・本にまつわるイベント 「三宮・灘・東灘 図書館クイズラリー」(東灘・灘・三宮) 3/23～4/30 3館計699人 東部3館の合同イベント。各館に因んだクイズと館の紹介を記載したチラシを各館で作成し、回答した方に景品(しおり)をプレゼントした。 「アルバムをひろげて1980～2022年」(三宮) 4/26～5/15 14人 KIITOへの移転を前に、三宮図書館での思い出を振り返る。 専用の用紙に図書館でのエピソードや思い出の本を記入してもらい、展示コーナーで掲示。 「ナゾトキゲームを、謎解きのプロと一緒につくってみよう！」(三宮) 5/14・5/18・6/25 各回35人 「ナゾトキウォークラリー～図書館とKIITOに潜む謎を解き明かせ！～」(三宮) 8/21～10/30 一般向け1,960枚・子供向け2,406枚配布 三宮図書館の移転記念行事。デザイン・クリエイティブセンター(KIITO)との共催。ナゾトキの設問については、ウォークラリーに先駆けて開催したワークショップにおいて、講師にお招きした多くのゲーム制作を手掛けている櫻井知得氏とワークショップ参加者が協力して作成した。 「森林植物園で本と植物のフェスタ」(兵庫・北・北神・名谷) 10/10 約100人 於：神戸市立森林植物園 兵庫・北・北神・名谷図書館が、森林植物園で絵の本ひろば実行委員会、淡河バンブープロジェクト、KOB Rail & Trail、食べるをつくる実行委員会、BL出版株式会社、神戸市立森林植物園と協力して企画した。図書館は、段ボール面展示台を利用した約500冊の絵本等の展示や、秋の森をイメージした工作会、読み聞かせを担当した。 「図書館べんりガイド「クイズで図書館をマスターしよう」」(須磨) 10/12～11/13 65人 「学びの世界は∞」(名谷) 10/21～11/18</p>

社会人・シニア層の生涯学習や学び直しに適した資料を、児童・生徒に戻った気分でご覧いただけるよう国語・算数・理科・社会などの教科に沿って分類し、内容紹介のPOPを添え、学校を再現したディスプレイで展示した。

【展示の場所を尋ねられることも多く、注目度の高さがうかがえた。資料を手にとっておられたのはシニア層の方が多かった。】

「Love Love Library スペシャル！～図書館探検ツアー～」(西) 10/29 5人

新西図書館の見学ツアー【ゆったりした感じで雰囲気よく説明も丁寧でよかった】

「西図書館へのメッセージ」(西) 11/1～3/31

移転前に募集したメッセージ142枚をアートウォールに掲示 於：なでしこ芸術文化センター

「ねえ、撮って！」～親子で楽しむ図書館撮影会～(三宮) 11/23 11人

絵本の読み聞かせや撮影術の本の紹介、館内球体本棚での写真撮影

「春の朗読・おはなし会」(須磨) 3/14 17人

神戸女子大学と連携、朗読と楽器の演奏・効果音の組合せによる耳で楽しむおはなし会を開催。

「神戸市立西図書館が新しくなりました！」図書館活用講座(西) 3/23 19人

「大人も子どもも楽しめる絵本の世界」(名谷) 2/23 11人 於：花谷地域福祉センター

3/22 23人 於：菅の台地域福祉センター

「雑誌リサイクルフェア」(中央・東灘・北・北神・新長田) 10月～11月

保存期間が過ぎた雑誌を読書週間中にフェアとして市民譲渡した。これ以外の館は、常設で定期的に譲渡した。

☞整理券配布、入場制限、密集を避けるように雑誌を配置。

◆読書会

「シン・ナガタ読書会」(新長田) 7/27・9/23・11/27・2/26 計4回 22人

2/26は初の課題型を実施、課題は『鹿の王』上橋菜穂子著。氏の著作を読み込んだという参加者がおられ、同作への新たな視点を得られる等、満足度の高い会となった。

「読書会」(北) 8月と1月を除く各月 計82人

「おおくらやま読書会」(中央) 3/4 8人

「神戸・図書館ネットワーク」との共催読書会。「友だち」をテーマに多彩な人と本が集まった。

◆大人を対象とした朗読会

【普段は読んでばかりだけど聞くのもいいね。】

(灘) 計5回 77人、(三宮) 計3回 12人、(新長田) 計6回 41人、(須磨) 計3回 34人、(北) 11/3 26人

◆講演会

「太田治子さん講演会「瀬戸内寂聴さんと私」」(新長田) 4/30 60人 於：ふたば学舎

太宰治を父に持つ太田治子氏(作家)の講演会

【太宰治さんが父親ということしか知らなかったが、大変面白く興味深い話をいっぱい聞けた。瀬戸内さんのイメージがより膨らんで、ぜひ作品を読んでみたい。】

“東灘区の学術にふれよう”講演会(東灘)

「『万葉集』と現代の思いはつながっている。」8/28 28人 廣川晶輝氏(甲南大学)

【とてもわかりやすくユーモアにあふれとても良い時間を過ごさせていただいた。時を越えても変わらぬ人の繋がりを実感しました。恋の歌についてもっと聞きたい。】

「絵本『ぐりとぐら』の世界」11/27 28人 高原佳江氏(甲南女子大学)

【参加して改めて絵本の見開きをじっくりと見たいと思いました。まだまだ発見できることに気づかせていただきました。絵本についての講演会企画を楽しみにしています。】

「誰が提供してくれたの？生殖医療と出自を知る権利」2/26 8人 小門穂氏(神戸薬科大学)

「〈歴史〉から小説を造る」(三宮) 10/29 25人 佐藤亜紀氏(小説家)

【ツイッターでこの(講演会)の情報を知って我が目をうたがいました】【紹介本のリストの配布がありがたかった】

「哲学とは何か」(三宮) 11/12・12/10(全2回) 計20人 鹿野祐嗣氏(神戸大学)

【ぜひ今後も人文・社会系のガチガチなイベントを企画してください】【哲学書を死ぬまでには

何冊か読んでみようと思った】

「ぐりとぐら day」（三宮）3/19 11人 於：中央区文化センター

三宮図書館スタッフと留学生たちによる多言語での絵本『ぐりとぐら』の読み聞かせと、高原佳江氏（甲南女子大学）による講演会。【多言語でお話を聞いて楽しかったです】

◆相続

「知っていますか？相続・遺言・終活」（東灘）11/22～11/30

「相続」を、スタートとして考えてみる。」（三宮）12/1～12/28

相続・遺言・終活などに関する図書館資料の展示を行うとともに、ポスターの掲示やチラシ・エンディングノートの配布を行った。

◆芸術

「絵を鑑る、絵を識る～フォーマリズム批評入門～」（三宮）10/8・10/22（全2回） 計14人
川田都樹子氏（甲南大学）による絵画に関する講演会

【新たな学びがある先生のお話。これが公共図書館で、ということがとても素敵です！】

「サタケシュンスケ展」（三宮）10/25～11/27

神戸市在住のイラストレーターであるサタケシュンスケ氏の作品を館内に展示。

「李禹煥の芸術の魅力」（三宮）1/21 9人 於：こども本の森神戸

小林公氏（兵庫県立美術館学芸員）による李禹煥芸術についての講演会

【わかりやすいお話で楽しくうかがいました】【会場の環境も落ちついていて、とても良かった】

“東灘区のアートにふれよう”講演会

「ファッション鑑賞の愉しみ～西洋服飾スタイル約300年の歴史～」12/18 14人 次六尚子氏
（神戸ファッション美術館）

「小磯良平と小磯記念美術館の楽しみ方」3/5 8人 廣田生馬氏（小磯記念美術館）

「アーティスト作品の展示」（新長田）4月～3月

昨年度に引き続き、長田区ゆかりの現代美術作家の作品を館内に展示（和田直子氏・金澤真由子氏・岩澤有徑氏・古巻和芳氏・関本徹生氏）

「気軽に落語会」（灘）7/17・10/16 計2回 27人

「図書館で落語」（灘）10/29・11/20 計2回 13人

「短歌ワークショップ」（灘）7/31 9人

「絵手紙講座」（北神）7/7（暑中見舞い）・11/17（年賀状） 計2回 17人

◆工作会

「製本教室「和綴じ本を作ろう」（須磨）10/26 3人

「本にカバーをかけよう～ブックコーティング入門～」（新長田） 11/3 3人

「ペーパーフラワーで作る華やかブーケ」（東灘）11/3 7人【思っていた以上のブーケ】

「大人のための切り紙講座」（垂水）11/3 3人【切り絵を趣味として始めようと思う】

「趣味ノートをつくろう」（西）11/3 10人

【1冊の本を作るにも色んな人の手間がかかっているんだと思いました。自分だけの本を作るのは楽しかったです】

「トールペイントの世界」（灘）11/3 計2回 9人

☞定員を従来の各回5名から4名に減らしているが、応募数が定員の3倍となったので、次回以降は5名に戻すことも検討したい。

「大人の工作会「オリガミでお正月」（兵庫）12/18 5人

お正飾りやお祝いの箸袋を、本を参考にして作る。

【図書館の自己評価】

・中央図書館の豊富な蔵書を活用し、世界情勢に合わせた資料展示「ロシアとウクライナ」を実施したことは、市民の「知りたい」に応える機会となったほか、地域図書館では各館異なる切り口でこの問題を考える機会を提供した。

・「絵を鑑る、絵を識る～フォーマリズム批評入門～」や「なぜ灘五郷は日本一の酒どころになったのか」など、文化芸術・地元企業や地域の歴史などに多様なテーマで講演会を開催し好評を得た。

・移転開館をした三宮図書館・西図書館では、新たな連携先とのイベントや図書館活用講座を開催し、新規利用者を開拓できた。

・感染症対策を施しながら参加型の行事を積極的に開催できた。

【図書館協議会の評価・意見】

・「仕事・地元企業」「地域活動」「地域の歴史」「健康・福祉」「教育」「世界情勢」と6つの分野にわたって、学習機会を提供する公共図書館の機能と役割を的確に達成していることは、高く評価することができる。

・しかし、その一方で「地域の歴史」だけでなく、「地域からの発明・発見」といったテーマで、人文社会科学系に偏りがちな図書館の講座、講演会、展示をもっと自然科学系の企画を意図的に増やすことを提案する。とりわけ、AIに関する実践的なイベントはおそらく次世代を担う若年層にとっては強い関心があると考えられる。

・図書や資料を収集、所蔵し、市民の利用に資するだけの図書館を越えた講座、講演会、展示などの事業が数多くなされ、市民に多方面からの学習機会を提供し、生涯学習を促進する「攻めの姿勢」として評価できる。簡単にネットで興味や関心を広げることができる現状であっても、わざわざ時間を作って参加する、見に行くといったことが主体的に知を広げることになると思われる。

・このようにまとめてもらうと、多種多様な講座や講演会が開かれていることがよく分かる。内容はよいと思うが、参加者が少ないのが残念。恐らく講座等があることを知らない人が多いのではないかと。広報の方法に工夫があるのではないだろうか。図書館のホームページでも講座等の案内をもっと分かりやすく伝える必要があると思う。

・地域の創生に繋がるイベントや今知るべきロシア・ウクライナについて知ることが出来る機会があったとの事、良い取り組みだと思います。また、図書館をより身近に感じて頂ける様な取り組みや講演会など興味を惹かれるイベント、相続のお話等勉強になる機会もあり、私も参加したかったです。Instagram や SNS を上手く使用してもう少し周知をうまく出来るとよいと思いました。

・様々な機関との連携で利用者の関心や図書館利用の増加につながったのではないかと思います。

・三宮図書館・西図書館の移転・開館を機に積極的なイベント開催の取り組みが素晴らしいと思う。

・パネル展示の傍に関連書籍を並べてすぐに借りられるようになったのは便利である。タイムリーなテーマで読書の幅が広がる。テーマによっては児童書も加えると家族で楽しめる。イベントと展示と読書会をリンクさせて開催することも人と本を結び効果的な方法である。読書会で本を仲立ちとして、新たな可能性を生む人の輪が生まれるかもしれない。（*3の(1)(2)にも当てはまる意見です）・展示用のグッズと書籍をセットにして市内全館を巡回展示するのはどうか。本の福袋は多数の図書館で実施していたので、話題が広がった。好評な企画を毎年定例化してゆくと、本の好きなおとなも子どももイベントボランティアとして活躍できる場ができる。

評価

A

3関係機関との協働(2からの抜き出し)

(1)行政機関との連携

イベント開催数 30回
参加人数 5,077人
展示の回数 100回

・福祉局、健康局

「歯科口腔保健啓発展示」(中央・灘・北・北神・須磨・垂水)6月 健康局

「食育月間展示」(新長田・須磨(児童書))5月~6月 健康局

「自殺予防週間関連展示」9月(西以外の全館)「自殺対策強化月間関連展示」3月(全館)

(2-(1)の再掲)

「認知症関連展示」(中央・東灘・灘・三宮・北・北神・新長田・須磨・垂水)9月

(2-(1)の再掲)

「三宮図書館特別見学会」(三宮)11/5 26人 福祉局障害福祉課

障がいのある方とサポートの方を対象に、開館時間前にゆっくり館内を見ていただいた。見学会後、KIITOでKIITOシニア男性の洋菓子チーム・パピーが、お茶をふるまった。

・各区まちづくり課

「みんなの学び場」(兵庫)4/1~ 於:イオンモールこうべ南

兵庫区役所×イオンモール神戸南

スタッフが選んだ本を毎月30冊程度イオンモール神戸南の「みんなの学び場」にて展示。

「出張ブックトーク「本の案内しよう」」（北）7/17 15人 於：ベルスト鈴蘭台

北区役所×ベルスト鈴蘭台

北区役所・ベルスト鈴蘭台主催のイベント「わたしのまちことば」において、「旅の本」の本を紹介。

「出張関連図書展示」（北）6/16・9/15 於：ベルスト鈴蘭台 北区役所×ベルスト鈴蘭台

ベルスト鈴蘭台主催の出前トークイベントに併せて、6/16は「食都神戸」を楽しもう、9/15は「もっと知ろう！認知症神戸モデル」のテーマに沿った資料をブックリストやチラシの配布とともに展示。

「第11期垂水マスターズ・ゼミ第8回「シニアのための図書館よろず帖」」（垂水）

11/16 15人 於：垂水区文化センター 垂水区役所

「熊野地域福祉センターモデル事業」（兵庫）

兵庫区役所×熊野地域福祉センター×夢野の丘小学校 於：熊野地域福祉センター

→「みんなの本棚・絵の本ひろば」12/10 70人

「しば丸太ラック本棚」を組み立てるワークショップに夢野の丘小学校5年生の図書委員が参加。絵の本ひろばの開催。

→「みんなの本棚」

夢野の丘小学校5年生の図書委員がワークショップで組み立て設置した「しば丸太ラック本棚」に、スタッフが選んだ本を毎月展示（3月～令和5年度継続中）。

「兵庫区こどもプロジェクト」（兵庫） 兵庫駅南公園こどもフェスタ実行委員会

→「兵庫駅南公園こどもフェスタ」7/23 約300人 於：兵庫駅南公園

2017年より子供が主役、つながるオモロイ大人たちをスローガンに実施の地域のまちづくりプレイヤー、企業、施設、諸団体が協同して実施する公園活性化イベント。図書館は出張青空図書館「としょかんの縁日」ブースを展開。

→「兵庫図書館おばけやしき2」8/14 202人

地元中学生のアイデアを基に地域の人と協力して兵庫図書館をおばけ屋敷に変身させる企画。閉館後の19時～21時30分に開催した。

→「みんなでつくる！こどもフェスタ in 和田宮さん 2022@兵庫図書館」11/3 約940人

→「巨大クリスマスツリー装飾 in 兵庫駅南公園@兵庫図書館」12/11 17人

兵庫駅南公園での巨大クリスマスツリー装飾に合わせた出張図書館、紙コップを利用したクリスマスぼうしの工作会、小テントで関連本の展示。

→「この街を知ろう！明親校区こどもフェスタウォークラリー」1/22 22人

防災をテーマに地元中学生と地域の事業者、団体が協同して兵庫駅南エリアで実施した街歩きイベント。兵庫図書館は明親福祉地域センター内に出張図書館を設置。

→「平野展望公園こどもフェスタ 2023」3/19 約450人 於：平野展望公園

・文化財課、埋蔵文化財センター、文化交流課 他

「夏の調べ学習」（北）7/31 9人 文化財課 於：内田家住宅

内田家住宅における子供向けの講座。昭和の暮らしを体験学習し、新聞紙を使ったエコバッグを作成。

「講演会「元素でたどる考古学 古代を探る科学の目」」（中央）10/15 35人 文化財課

中学生から大人まで熱心に聞いていただいた。図書館に初めて来館する人や、埋蔵文化財センターに行ったことがない人も多数参加。専門的な内容を親しみやすく伝えてもらった。

「文化財課連携ミニ展示「元素ってすごい」」（中央）10/1～10/19 文化財課

「秋の古民家で朗読ライブ」（北）11/6 36人 文化財課 於：内田家住宅

内田家住宅において、ボランティアグループ「朗読シアター-KOBE」による朗読劇を行った。

3年ぶりの開催。学芸員による内田家住宅の説明や、演目に北区の民話も含まれており、北区の魅力も伝えることができた。

「スタンプラリーお宝だいぼうけん12」（西）7/20～8/21 103人 埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターと共同で児童向けのスタンプラリーを開催。西図書館では併せて連携し

	<p>た資料展示も同時開催。</p> <p>「ナイトピクニック「さんぼみや」」（三宮）7/23 17:30～20:00 デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）×こども本の森神戸（文化交流課）×一般社団法人リバブルシティイニシアティブ 於：こども本の森神戸 三宮周辺施設連携事業「さんぼみや」の始動イベントとして各施設代表によるトークセッションをこども本の森神戸で開催し、三宮図書館長が登壇。</p> <p>「本のもりもり夏まつり」（三宮）8/20 200人 こども本の森神戸（文化交流課） 於：こども本の森神戸 ヨーヨーすくいや輪投げブースなどを用意したこども本の森神戸主催の夏祭り行事において、夏に関する絵本の読み聞かせを行った。</p> <p>「本の森からバスでGOGO」（三宮）8/27 10人 こども本の森神戸（文化交流課） 於：こども本の森神戸 バスに関する絵本の読み聞かせ、シティループバスに乗ってポートタワーへ移動し、バスと写真撮影会やクイズ大会を行った。</p> <p>「歩行シミュレーター体験会」（新長田）4/21・2/22 計2回 43人 長田警察署 「自転車シミュレーター体験会」（新長田）5/24・7/7 計2回 24人 長田警察署 「あぶない！こんなときどうする？」（垂水）12/16 8人 垂水消防署・垂水区ボランティアセンター 垂水消防署の消防士による、乳幼児に起こりやすい事故の事例紹介、ベビーアンを使った心肺蘇生、AEDの使い方講座等。保育士資格を持つボランティアによる子どもの見守り。</p> <p>「ホール開放デー出張展示「図書館スタッフおすすめ 寒い日にほっと温まる本」」（西）12/21～12/28 ホール開放デーに伴った資料展示。イベント終了後に館内展示。 文化交流課 於：西神中央ホール</p> <p>「オープン KIITO 連携「図書館のググらない調べ方」」（三宮）3/5 4人 デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO） 辞典、事典、年表などの「レファレンスブック」を使って用意された問題を実際に調べながら答えを考えるワークショップ。</p>
<p>(2)学校園との連携</p>	<p>→6子供サービスの項へ</p>
<p>(3)企業やNPO 法人等との連携</p> <p>イベント開催数 57回 参加人数 1,185人 展示の回数 30回</p>	<p>・日本政策金融公庫</p> <p>「ビジネス講演会「起業(ゆめ)を形に 2023-創業する前に知っておきたいこと-」」（中央）2/22 12人 (2-(1)の再掲) 業種別の入門編の要望などもあり、より具体的な話を聞きたい人が多いようであった。 「創業する前に知っておきたいこと」資料展示（中央）1/31～2/28 (2-(1)の再掲)</p> <p>・神戸定住外国人支援センター</p> <p>「絵本の読み聞かせ」（新長田）計7回 計78人 於：NPO 神戸定住外国人支援センター 図書館スタッフによる在日外国人児童への読み聞かせ 「グローバル読書の会」（新長田）計7回 計130人 於：駒ヶ林小学校 放課後、在日外国人児童を対象に、神戸定住外国人支援センターや図書館のスタッフが読み聞かせを行う。</p> <p>「やさしい図書館案内」（新長田）8/6 9人 外国にルーツを持つ人たちに図書館の使い方をやさしく案内し、実際にクイズラリー等に参加してもらって図書館の楽しみ方を体験する機会を提供した。</p> <p>・その他</p> <p>「地域歴史講演会」（東灘）4/3「平生夙三郎の社会貢献～明治・大正・昭和の住吉村」15人 9/11「住吉村の近代 酒造業の発展と水車精米」15人 住吉歴史資料館 (2-(1)の再掲)</p> <p>「企画展示「長田区 今月の主人公」」（新長田）</p>

月ごとに地元で活躍する著名人のお薦め本の展示。

(4月～5月) 神戸定住外国人支援センター 大石貴之氏

(6月) 神戸長田ふくろうの杜 放課後等デイサービスふくろっこ管理者 山本美由美氏

(8月) 長田郵便局局長 橋本敏弘氏

(10月) 株式会社くにつか 高橋亜矢子氏

「気軽に落語会」(灘) 計2回 27人 楽喜(ラッキー) 落語研究会 (2-(2)の再掲)

「図書館で落語」(灘) 計2回 13人 神戸大学落語研究会 (2-(2)の再掲)

「図書館貴重資料に見る“こうべ”」出張講座(中央) 7/21 20人 於:ベルスト鈴蘭台
(2-(1)の再掲)

「読書ノート配布」(名谷) 8/3～10/31 大丸須磨店 計209冊配布。

大丸須磨店と共同作成した読書ノートを、名谷図書館に来館した児童に配布。

「留学生版トライやるウィーク2」(兵庫) 8/26～8/28 4人 NPO法人Oneself(ワンセルフ)

兵庫区みらい会議で企画したミャンマー、ベトナム、中国からの留学生の職業体験に協力。

「海洋ゴミ問題ワークショップ」(須磨) 計2回 計45人

きのこーぼー代表の堀美恵子氏(天然素材ハンドメイド作家)によるお話と須磨海岸の流木を使った工作、図書館スタッフによるブックトーク。 (2-(1)の再掲)

「おかえり、記憶の街」(灘) 11/5 5人 神戸大学 ふるさと記憶ラボ (2-(1)の再掲)

「第1回みょうだに街の文化&体育祭」(名谷) 11/26 大丸須磨店 於:名谷駅前広場

大丸須磨店が名谷駅前広場で行う事業に、絵本の展示、読み聞かせ、おはなしクイズ等を行う
「図書館縁日」ブースとして協力。

「しばらく丸太展示「『冬の旅』つれづれに～自由と孤独に生きる女たち」」11/22～12/18
元町映画館

神戸・元町映画館にて30年ぶりに上映されるアニエス・ヴァルダ監督作品「冬の旅」を題材にした元町映画館との連携企画として、関連本を展示。

「図書館ロボット実証実験」(東灘) 11/30～12/1 28人 甲南大学知能情報学部

図書館ヘルプデスク支援ロボットの実証実験への協力。

「チャンネルタウン project 「Little free Library ワークショップ with 絵の本ひろば」」(兵庫)
2/26 60人 KOBE 本の小箱の会

「現代音楽の聴き方、楽しみ方、教えます。」(三宮) 3/17 9人 神戸市室内管弦楽団

川島素晴氏(国立音楽大学、大学院准教授・作曲家)による講演会

「絵本でつながる子育て」(北神) 3/9 20人 NPO法人場とつながりの研究センター

飯島仁美氏(関西女子短期大学)による絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び。子育てのお話や相談会。

「春の朗読・おはなし会」(須磨) 3/14 17人 神戸女子大学 (2-(2)の再掲)

「おうちで楽しむ絵本の選び方～パパとじいじと絵本を楽しもう～」(東灘) 3/18 10人

NPO法人「絵本で子育て」センター 講師:安達光生氏

「職業体験」(新長田) ウェルビー神戸三宮センター 4/26～4/28 1人

(灘) ウェルビー神戸三宮センター 5/10～5/13 1人

(垂水) ハンズ三宮 5/11～5/13 1人

(新長田) ハンズ三宮 6/21～6/23 1人

(垂水) manaby 神戸元町事業所 6/28～6/30 1人

(新長田) LITALICO ワークス明石 9/13～9/15 1人

(垂水) LITALICO ワークス明石 10/5～10/7 1人

(垂水) LITALICO ワークス三宮 3/15～3/17 1人

「職業体験(支援学校)」

(須磨) 神戸市立いぶき明生支援学校高等部 4/1～9/28の内11日間 1人

(西) 神戸市立いぶき明生支援学校高等部 4/20～7/13の内7日間 1人

(新長田) 神戸市立友生支援学校高等部 4/28～9/22の内13日間 1人

(西) 神戸市立青陽須磨支援学校高等部 6/14～6/17 1人

(灘) 神戸市立青陽灘支援学校高等部 10/4～10/7 1人

(新長田) 神戸市立友生支援学校高等部 10/6~12/22 の内 9 日間 1 人
 (須磨) 神戸市立いぶき明生支援学校高等部 2/15~2/17 1 人
 (垂水) 神戸市立いぶき明生支援学校高等部 2/15~2/17 1 人
 「インターンシップ」 (兵庫) 神戸市立神港橋高等学校 4/14~1/19 の内 15 日間 1 人
 (名谷) 神戸市立神港橋高等学校 (大丸須磨店受入の一環) 5/26 1 人
 (新長田) 兵庫県立長田商業高等学校 7/26~7/28 1 人
 (中央) 兵庫県立長田商業高等学校 7/27~7/29 2 人
 (垂水) 兵庫県立長田商業高等学校 7/27~7/29 2 人
 (中央) 大手前大学 8/2~8/5 2 人
 (須磨) 神戸女子大学 8/16~8/19・8/23~8/27 各 1 人
 (垂水) 垂水区役所受入の一環 8/17 (大学生 4 人、高校生 1 人)

【図書館の自己評価】

- ・7月の三宮図書館の仮移転に始まり、10月の西図書館の移転開館、R5.1月の新システムの更新に伴う準備を行いつつ、各館で積極的に多様なイベントを開催した。
- ・令和3年度に続き文化財課との連携による考古学講演会を開催し好評を得た(中央)。また、三宮図書館では、こども本の森神戸(文化交流課)との連携イベントを数多く実施するなど、局内連携を軌道に乗せることができた。
- ・兵庫区の熊野地域福祉センター、北区の古民家、須磨区の名谷駅前広場、中央区の子ども本の森など地元エリア・近隣の施設を会場にしたイベントを企画・参加し、地域の活性化にも貢献した。
- ・職業体験やインターンシップを受け入れ、社会とつながるきっかけの場として役立てていただいた。

【図書館協議会の評価・意見】

- ・福祉局、健康局、各区まちづくり課、文化財課、埋蔵文化財センター、文化交流課ほか行政機関との連携、さらには学校園との連携、企業やNPO法人等との連携など、神戸市の総合計画の実現のために公共図書館としての役割を果たしていることは高く評価することができる。・その一方で、関係機関がWeb上に公開している「行政資料」をデジタル化し、電子書籍のフォーマットで保存し、各部局のWeb上で削除されても、検索・閲覧が可能な行政資料電子書籍化プロジェクトに取り組むことを提案する。例えば、静岡県立中央図書館では、紙媒体の発行は行わない行政資料が増えてきたことから、これらの資料を自動収集し、45万件的PDF化を実施している。(杉本啓輔「地域資料収集としての自治体資料自動収集システムの開発」『カレントアウェアネス-E2510』No.438.2022.07.07、) <https://current.ndl.go.jp/e2510>
- ・公共図書館がこのような関係機関の行政資料を市民に提供し、全文検索機能により、市民がさまざまな地域情報にアプローチできることは画期的なことであろう。神戸市のことは、図書館で検索すればすぐに分かるという環境を作り、神戸市立図書館が政令指定都市の中でもっとも早く行政資料の全文検索を市民に提供した図書館になることを提案したい。
- ・以前から要望されていた関係機関との連携が積極的になされているものとして評価できる。また、連携先も市の機関以外にも広がっており、それぞれの強みを生かしたイベントが開催されている。「2. 学習機会の提供」とともに、さらに拡大充実していただきたい。
- ・地域の活性化につながるよう、イベント等への参加を積極的に進めて欲しい。
- ・学校から参加して頂ける機会を多く設ける事で、生徒さん達にも広く図書館の活動を知って頂き、将来の図書館の運営にも繋げていけると思いました。在日の外国人の方々にも利用して頂ける機会を設け、地域の事をもっと知って頂く機会になっている。
- ・地元エリア・近隣との連携がこんなに行われていたとは知りませんでした。今後も続けて欲しいです。
- ・インターンシップや職業体験の受け入れについては、子供たちのキャリア教育の一環として今後も継続をお願いしたい。
- ・(1)(3)ニーズの高いテーマで、地域の特性を生かして各館で開催しているのは素晴らしい。よい企画は、毎年繰り返すことで周知されて参加者が増えていくので、次年度も実施してほしい。(2)兵庫図書館は、地域の幅広い年齢層とコラボして、協働する人達の気持ちや力をうまく引き出している。青少年にとっては、住民としてサービスの受け手としてだけでなく、楽しみの中に地域の役に立つ喜びを実感できる好機になったであろう。来館者数や規模の違いがあるのでどこの館でもできるとは限らないが、町に出ていくことで住民のニーズを掴み、ニーズの発信者を協力者として巻き込んでいくという素晴らしい実践である。

評価 A

4拠点整備と既存館における新設備の導入

(1)図書館の移転再整備

三宮図書館の仮移転、新三宮図書館の整備

- ・三宮図書館は令和4年6月末に勤労会館での運営を終了し、7月26日デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）2階に仮移転開館。
- ・令和4年度の事業としては前年度に引き続き仮移転先の整備を進めるとともに、移転作業および開館準備を行い、予定通り開館を迎えた。

<開館後の状況>

駅から離れたことで利用は減ったが、閲覧スペースが拡大したことやデザイン性の高い設えが好評で、周辺地域の住民、KIITOのイベント参加者、こども本の森やその他ウォーターフロントを回遊する人たちが利用している。特に、旧三宮図書館（勤労会館）が遠方だったポートアイランドを含む中央区南部の住民からは移転を喜ぶ声がある。

<利用状況の比較（1日平均値）>

	入館者数	貸出冊数	新規登録者数
旧館（R3年度）	1175.7	1574.4	12.34
新館（R4.7～R5.3）	826.6	807.9	11.43

- ・三宮図書館については、令和9年度完成予定のバスターミナルビル内への再移転にむけて、レイアウト等整備内容を検討し、設計者との協議を進めた。

新西図書館の整備

- ・西図書館は令和4年8月末に西区文化センターでの運営を終了。10月1日、西神中央ホール内に移転開館。
- ・令和4年度の事業としては書架や家具等の設置工事、移転作業および開館準備を行った
- ・休館中は開館準備と並行して予約図書受取と返却の臨時窓口を1週間設置し、利用者の利便性をできるだけ保持しようとしたが、その後の約3週間余りの間に予約本が大量に滞留したため（約8千冊）、開館後しばらくの間、予約図書の連絡・提供が滞った。

<開館後の状況>

面積も広く蔵書数や座席数が充実したことでますます多くの利用がある。一部座席に座席管理システムを導入したことから、利用に必須となる図書館カードの新規登録も多かった。

<利用状況の比較（1日平均値）>

	入館者数	貸出冊数	新規登録者数
旧館（R3年度）	1160.2	2423.7	9.79
新館（R4.10～R5.3）	2667.4	3279.6	59.85

新垂水図書館の整備

- ・令和4年度は仮囲い等先行工事を開始し、文化財調査も始まった。
- ・設計者と協議を進め、図書館、ロータリー、駐輪場の実施設計が終了。
- ・実施設計に基づいて2月末に行われた建設工事の入札が、資材等の急激な高騰のため不調となり、開館までの全体スケジュールが遅延することとなった。3月以降、再入札に向けて建築住宅局と共に調整作業を行った。

	<p>新北図書館の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを経て、令和4年7月に「新北区文化センター・新北図書館等整備基本計画」を策定。9月に設計者を選ぶ簡易プロポーザルを実施した。 ・10月以降、設計者との協議を行い、整備基本計画に基づく基本設計が終了。
<p>(2)コンピュータシステムの更新</p>	<p>コンピュータシステムの更新・新機能の追加</p> <p>令和4年12月28日から令和5年1月30日まで、図書館システムの更新のため休館。</p> <p>休館中も各館（灘図書館を除く）臨時開館期間を設け、座席の提供、新聞や雑誌、児童書の閲覧を可能とした。※開館期間や提供範囲は館ごとに異なる</p> <p>1月31日に稼働した新システムでは、図書館をより便利に使ってもらえるよう、下記のような新しい機能を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード連携による資料の貸出 マイナンバーカードのICチップ内の利用者証明用電子証明書の発行番号と図書館のカード番号をつなぐことで、窓口や自動貸出機でマイナンバーカードによる貸出手続きが可能となった。 連携数（令和5年3月末時点） 779件 ・インターネットによる図書館カードの事前登録申請 新システムのWebサービス機能により、来館前に図書館カードの申請が可能となった。 事前申請数（令和5年1月～3月） 148件 ・スマホ版図書館カード K-lib ネットに登録している利用者は、マイページにログイン後ご自身のスマートフォンの画面にバーコードを表示させることで、窓口や自動貸出機での貸出等ができるようになった。
<p>(3)快適便利な高機能機器の導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書除菌機の設置(未設置館順次) 西図書館に設置（2022年10月～） 兵庫図書館、新長田図書館に設置（2023年1月～） ※未設置は北図書館のみ。令和7年度の移転開館時に導入予定。 ・公衆無線LANの設置(西・新長田) 西図書館に設置（2022年10月～） 新長田図書館は未設置。自習可能な座席が少ない新長田図書館における公衆無線LANの設置方針を整理・検討中 ・座席予約システムのWeb対応 新しい図書館システムと連携することで、令和5年1月末から座席予約システムにWeb予約機能を追加し、中央図書館、東灘図書館、北神図書館に新規導入 すでに座席予約システム導入済みの名谷図書館（令和2年度末～）・西図書館（令和4年10月～）にもWeb予約機能を追加 ・自動返却機・予約図書受取棚の設置 令和5年1月～新システムの機能として設置 自動返却機：東灘図書館、灘図書館、北神図書館、名谷図書館、西図書館 ※自動返却機に本を投入することで利用者自身の貸出記録からひとまず消去され、利用者は次の手続きに進むことができる。本は図書館スタッフが改めて返却処理を行う。 予約図書受取棚：東灘図書館、名谷図書館、西図書館

※カウンターではなく、利用者自身で予約図書の貸出手続きが可能。まず予約図書照会機で棚番号を確認するためのレシートを出力。その番号の棚にある予約図書を取り出し、自動貸出機で手続きを行う。

【図書館の自己評価】

- ・中央図書館、指定管理者ともに、通常業務と図書館システムの更新（1月）準備を行いながら三宮図書館（7月）、西図書館（10月）と2館立て続けで開館する、という非常に困難な状況を、開館が遅延することなく、また大きな事故もなく乗り切ることができた。
- ・三宮図書館の移転については、移転場所を含めた事前のPRは行ったものの十分でなく、移転後、利用者からの問い合わせが、図書館だけでなく、JR三ノ宮駅のインフォメーションセンターにも多くあった。
- ・西図書館については、休館中に溜まった予約本が大量となり、開館後の業務に支障をきたした。今後も続く新館整備において、移転中のサービスのあり方を検討する必要がある。
- ・システム更新の臨時休館については何度も詳しいPRを行い、大きな混乱や苦情はなかった。
- ・また臨時休館前月の12月15日からは、貸出冊数を10冊から20冊に増やし、返却期限を2週間から7週間に変更するとともに、臨時休館中に各館で部分開館を行い、座席の提供や児童書・雑誌等の閲覧を可能とするなど、休館による不便をできる限り軽減した。
- ・新システムでは基本的な図書館業務を行うだけでなく、先進的な機能を盛り込んだ。
- ・自動返却機は返却のためだけに窓口に並ぶ必要がなくなり、好評である。
- ・予約図書受取棚は非対面・非接触のサービスとして導入した。導入時に利用者への説明、掲示による案内等を丁寧に行うことで混乱の軽減に努めた。設置館では徐々に定着しつつある。
- ・大規模なシステム更新であったが大きな障害なく開館できた。一方で運用面での準備時間が足りず、内部作業のマニュアルが一部未整備のまま新システムをスタートせざるを得なかった。開館直後には、誤った内容のメールを送信するなどのミスや、抽出処理の不備から予約図書の提供の遅れなどが生じた。

【図書館協議会の評価・意見】

- ・図書館の移転再整備に関して、新三宮図書館、新西図書館の整備は公共図書館としての新たな空間設計が功を奏し、地域の活性化につながる取り組みとなっており、高く評価することができる。また、新垂水図書館の整備、新北図書館の計画にも期待している。・コンピュータシステムの更新については、これによってようやくOPAC（オンライン閲覧目録）における「よみ」での検索において、日本目録規則を知らなくても便利に使えるようになったことは評価できる。例えば「だれがほんをこらすのか」では該当図書はヒットせず、「だれがほんおこらすのか」と日本目録規則に則った検索方法でなければヒットしないという状況が改善したと思われる。・快適便利な高機能機器の導入については、「図書除菌機の設置」「公衆無線LANの設置」「座席予約システムのWeb対応」「自動返却機・予約図書受取棚の設置」など、ICT活用型図書館の機能向上が見られたことは高く評価できる。
- ・2つの図書館の移転整備を無事終え、大きなタイムラグもなく、サービスを継続できたことは評価できる。コンピュータシステムの更新は、図書館システムや利用者サービスの充実、拡大の上で不可避であり、大きな混乱もなく新システムに移行できたことは評価できる。いずれも市民の立場からはうまく行って当たり前であるが、この2つを無事なした図書館スタッフの努力を可としたい。さらに、評判の芳しくないマイナンバーカードの利用も積極的な試みとして評価できる。
- ・新システムへの変更が利用者にとってどんなメリットがあるのかがよく分からない。記載されている機能がそれほど便利だとは実感しにくいように思う。座席予約システムは好評のようなので推進して欲しい。新垂水図書館の開館について、今は建設工事を予定通りに進めるのが難しい状況であることはよく分かるが、大きな遅れにならないように努力してほしい。
- ・順調な移転、コンピュータシステムの更新が出来ている。感染に配慮した機器の導入で安心して利用できる。
- ・新西図書館について、広さも格段に増え、設備なども新しくなり、元々神戸市の中でも貸出数が多かったと思いますが、さらに増加した結果を見ると、市民に多く利用されていると実感しました。旧館より新館は駅直結になったので、利用しやすくなったと思います。
- ・移転・開館時の多少の混乱は仕方ないことと考える。キャパオーバーとなる業務が運営の混乱を生む原因にもなると思う。
- ・（1）滞在型の新図書館はゆったりとしたスペースにテーブル・机が十分に備えられて居心地がよく、ウィークデイでも満席

であった。だが、雑誌以外の図書館資料を利用している人は少なく、仕事の持込や受験勉強のためのフリースペースといった印象である。別置すると資料の管理に手間がかかるが、ベンチの横のボックスで小さなテーマ展示をするなど、本と出会う場所としてのさらなる活用を望む。図書館は、なんといっても資料と排架で人の好奇心を掴み可能性を引き出せる場所だと思う。(1)十分な書架スペースがある新館になることで期待したのは、児童書の文学の排架が改善されることだった。だが、どの新館でも旧態然で対象年齢を配慮せず、単純に作家別やタイトル別に排架している。何事も自分で決めたいと思いつける時期の子どもが、自分で本を探せるような配慮がない。絵本の嫌いな子はいないと言われるのに中学年から読書離れが進むのは、本を求めて図書館に来る子ども（貴重な少数派）が自分の読書力に見合う本を簡単に見つけられないことに一因がある。児童書の対象幅は広く、読書力の差は大きい。絵本から物語への移行を楽に進め、読書における9・10歳の壁を乗り越える手立てとして、まずは幼年童話を下段に置き、上級の物語を上段に置くなどの工夫がほしい（できればデータや図書ラベルでも区別できればさらによい）。(2)(3)は、使いやすくなり満足している。

評価

B

5 利用しにくい市民への環境整備

(1)ユニバーサルデザインに配慮したサービスの提供

・点字図書館との連携

令和4年度は「読書バリアフリー法」関連で、福祉局障害福祉課、教育委員会特別支援教育課、点字図書館、中央図書館等の関係部局が集まり、情報共有を行った。

◇障害のある方や母国語を日本語としない方へのサービスの提供等

「留学生版トライやるウィーク2」（兵庫）8/26～8/28 3-(3)の再掲

神戸定住外国人支援センター(KFC)絵本の読み聞かせ(新長田) 計10回 121人 (3-(3)の再掲)

「バリアフリー映画会」（東灘）12/25 9人

「やさしい図書館案内」（新長田）8/6 9人

外国にルーツを持つ人たちに図書館の使い方をやさしく案内し、実際にクイズラリー等に参加してもらって図書館の楽しみ方を体験する機会を提供 (3-(3)の再掲)

「三宮図書館特別見学会」（三宮）11/5 26人

利用者の多い時間に図書館を利用することが難しい、障害のある方々とサポートの方を対象に、開館前の時間にゆっくり館内を見ていただく見学会 (3-(1)の再掲)

(2)ユニバーサルデザインに配慮した利用しやすい環境の整備

・館内サインの見直し

令和5年度実施に向けて、サインの精査や館内施設の配置や古い表示などの洗い出し（中央）地域図書館では館内表示に、ピクトグラムの活用や文字を大きくする、明るい色使いを使用した表示等の見直しを随時行っている。

視力の弱い人にも見やすい「白黒反転した図書館カレンダー」を入口付近に掲示（新長田）4月
館内掲示物・掲示板を刷新。ユニバーサルデザインを意識して見やすい緑色を採用（垂水）1月

・利用支援

バリアフリー関連資料を大活字本や児童書も含めてコーナー化、チラシ等もまとめて配置し、手に取りやすいよう工夫。

・読書支援のための機器導入・部屋の設置（西）

移転開館に伴い、西図書館1階に対面朗読室を設置。視覚等に障害がある方や活字の本を読むことが難しい方に対してボランティアが朗読する、対面朗読サービスを開始（中央、新長田、東灘に続いて4館目）。10月～

リーディングトラックを導入（三宮）10月～

・「やさしい利用案内」の作成

「大きな文字の利用者配布資料」(A3サイズに拡大印刷した一般利用案内、K-lib ネット、図書館カードの再発行について)を受付カウンターに常時設置(新長田)4月～

・大人向け多言語の利用案内作成

他部局に打診し、検討中。(中央)

日本語と英語共用のコミュニケーションボードを作成し、カウンターに設置(三宮)

11月設置、2月更新

・「だれでもトイレ」等の設置(西)

西図書館が入っている施設「なでしこ芸術文化センター」の共用部分に「多目的トイレ」を2箇所設置。

(3)図書館を利用していない市民層への働きかけ

・SNSによる情報発信

令和4年度より新たにTwitterでの情報発信を開始。3月末までの1年間で594ツイート(月平均49.5)、令和5年4月時点でフォロワー606人、6月時点で648人

小説家・佐藤亜紀さんの講演会お知らせ(三宮・10月、97いいね)、ワールドカップ関連展示風景(中央・11月、55いいね)、新西図書館開館お知らせ(西・9月、244いいね)など

・利用促進をはかる館内外での利用講座、「出前トーク」の実施

「ネットワークサービス・自動貸出機推進キャンペーン「K-lib NET はいっとお?/べんりすぎてびっくり!?自動貸出機」(垂水)4月～月2回

ネットワークサービスと自動貸出機の利用推進・啓発のためにチラシを配布

「図書館べんりガイド「クイズで図書館をマスターしよう」(須磨)10/12～11/13 65人

(2-(2)の再掲)

「第11期垂水マスターズゼミ第8回「シニアのための図書館よろず帖」(垂水)11/16 15人

シニア男性を対象にした地域活動のための講座。スライドを用いた図書館案内、絵本読み聞かせ体験、館内見学 於：垂水区文化センター 垂水区役所 (3-(1)の再掲)

「神戸市立西図書館が新しくなりました!」図書館活用講座(西)3/23 19人

連携：西神ニュータウン研究会 (2-(2)の再掲)

「出前図書館見学」小学校に出向いて、パワーポイントを使っての図書館見学、利用案内等

(東灘)計4回 496人、(須磨)12/15 59人、(垂水)計2回 136人

「出前授業」中学校の支援学級で図書館の使い方案内とブックトーク(西)6/27 14人

「公民館サマースクール 図書館バックヤードツアー」(中央)8/4 17人

夏休み講座「読書感想文、にがてな人あつまれ!」①(中央)8/9 9人

〃

②(中央)8/9 22人 (6-(1)へ再掲)

「Love Love Library スペシャル!～図書館探検ツアー～」(西)10/29 5人 (2-(2)の再掲)

「図書館ミニツアー」(中央)11/5 9人

「図書館ツアー」(名谷)計2回 9人

名谷図書館の利用案内と新システム導入による新たなサービスの案内をツアー形式で実施。

「出張ブックトーク「本の案内しよっ」」(北)7/17 15人

於：ベルスト鈴蘭台 北区役所×ベルスト鈴蘭台

北区役所・ベルスト鈴蘭台主催のイベント「わたしのまちことば」において、「旅の本」の本を紹介。 (2-(1)の再掲)

「図書館貴重資料に見る“こうべ”」出張講座(中央)7/21 20人 於：ベルスト鈴蘭台

(2-(1)・(3-(1)の再掲)

「第10回しんながたくにつかローカル&ワールドフェスティバル」(新長田)3/26

於：大正筋商店街

手書き文字でしりとりと本の友達”栞”づくり(60人)、商店街で絵本の読み聞かせ(25人)

「三宮・灘・東灘 図書館クイズラリー」3/23～4/30 (2-(2)の再掲)

「オープン KIITO「図書館のググらない調べ方」」（三宮）3/5 4人 (3-(1)の再掲)
 辞典、事典、年表などの「レファレンスブック」を使って用意された問題を実際に調べながら
 答えを考えるワークショップ

「こども本の森1周年記念イベント」（中央）3/25 於：東遊園地南エリア
 出前おはなし会（53人）「図書館バッグを作ろう」（82人） (6-(1)へ再掲)

・各種広報メディアへの情報提供

「神戸ママフレ」（市公式子育て応援 Instagram）での図書館員おすすめ絵本の紹介、子ども向け
 行事の案内（中央）

「ためまっぷ東灘」（東灘）「ためまっぷ中央」（三宮・3月）「ためまっぷながた」（新長田）
 への情報提供

「こうべ子育て応援カレンダー」（兵庫県立神戸生活創造センター）への行事案内掲載
 （兵庫・新長田）

「神戸市公式 note」で、西図書館オープン、レファレンス、図書館の最新サービスを紹介
 広報紙 KOBE 各区版でのおすすめ本の紹介（東灘）（兵庫）

神戸新聞子育てクラブ「すきっぷ」への情報提供（新長田）

子育て応援アプリ「ナガイク」へのコラム(おすすめ本の紹介ほか)掲載（新長田）

エコール・リラの LINE を利用した行事等の情報提供（北神）

神戸市広報 Twitter へ行事（講演会）の案内掲載依頼（中央・9月）

【図書館の自己評価】

- ・障害のある方や母国語を日本語としない方へのサービスの提供等は各館で工夫を凝らし、バラエティーに富んだサービスが提供できた。
- ・「読書バリアフリー法」の施行に伴い、関係部局と連携を取る中でこれまで見えなかったニーズが見えてきた。こうした情報をもとに、次のサービス展開を検討している。
- ・障害のある方とサポートの方を対象に、開館前の時間にゆっくり館内を見ていただく見学会 「三宮図書館特別見学会」は、今後にもつながる新たな試みと考えている。
- ・「貴重資料に見る“こうべ”」出張講座は、貴重資料デジタルアーカイブズ CD-ROM を用いているが、所蔵資料を紹介するだけでなく、出前先地域の歴史も含めながら、毎回内容を再構成。これにより、終了後に参加者から自身の記憶を聞かせてもらう機会に恵まれる。また、参加者が改めて地域や神戸の歴史に関心を持ち、調べる手段としての図書館を印象づけることができた。
- ・図書館の公式 Twitter による情報発信も開始し、フォロワー数はまだ少ないが、より身近に日々の図書館の情報を提供できるようにしている
- ・三宮図書館、西図書館の移転・開館、新しいコンピュータシステムの導入など、盛りだくさんだった令和4年度は、多くのメディアに図書館が目される年となったが、1つ1つに丁寧に対応し情報提供を行い、結果として質の高い情報を市民に届けることができた。

【図書館協議会の評価・意見】

・「ユニバーサルデザインに配慮したサービスの提供」は公共図書館の喫緊の課題である。従来の「障害者サービス」を ICT を活用することによってアップデートし、障害の多様性、重層性に配慮し、「ユニバーサルデザイン」を実践的に考える必要がある。・そうした「環境の整備」として具体的には「読書バリアフリー法」第3条に規定された「アクセシブルな電子書籍等」としての「音声読み上げ対応の電子書籍」のような視覚障害に限定しない汎用的なしくみの提供をさらに増やす必要がある。・また「図書館を利用していない市民層への働きかけ」として、日本語を母語としない定住外国人に対する「多文化サービス」のアップデートが必要である。ハングル、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語など多言語対応、そして日本語タイトルへの自動音声読み上げ対応など、アクセシブルな電子書籍の可能性は高く、公共図書館として積極的な取り組みが必要である。・「留学生版トライやるウィーク2」（兵庫）「神戸定住外国人支援センター（KFC）絵本の読み聞かせ」（新長田）等の取り組みは高く評価できる。一方、「館内サイン」の見直しや「だれでもトイレ」等の設置は全館に拡げていくことが重要である。

・図書館を利用したくも諦めていた市民に対して、多様なバリアを解消させるために行ったユニバーサルデザインに依拠した取り組みは評価できる。また、図書館をあえて利用しようとはしなかった市民に対するある意味「お節介」も図書館を生活の一部にしてもらうための重要な取り組みであると評価できる。

・さまざまな人にとって利用しやすい環境づくりに向け、引き続き努力してほしい。三宮図書館特別見学会のような取り組み

は非常に良いと思うので今後も続けてもらいたい。出張講座も興味深い。広報メディアへの情報提供はとても重要だと思う。取り上げられる機会が増えるようにさまざまな形を試みてほしい。

・誰もが利用できるようユニバーサルの設備を整えている事は素晴らしいと思います。施設が整った上で今後は利用の際に職員の方がフォローする事も大切だと思います。図書館を利用しない層への働きかけが今後は一番重要だと思います。いくら図書館が整っても多くの方、多くの層に利用してもらえるような工夫を今後も継続して行って頂きたい。

・支援が必要な利用者への取り組みや「出前地域歴史」と図書館を結びつける企画は素晴らしいと思いました。

・児童・生徒を対象とした「出前図書館見学」「読書感想文」の講座等様々なイベントによって子供たちが本に触れあう機会となっている。デジタル機器の発達や学校での一人1台端末によって読書離れ・活字離れとなっている現状に歯止めをかけたい。

・(1)(2)大震災余波で財政的に後回しにせざる得なかったことと拝察している。この20年に著しく進歩したことで取り入れる際の選択肢も多い。母国語の違いから、健康上の理由から図書館利用に困難がある利用者の声を十分に反映しながら整備してほしい。(3)図書館の外で読み聞かせ会などをする場合は、普段図書館を利用しない人に図書館を紹介できるチャンスである。できれば関連図書を展示・紹介し、貸出もして(ハンディースキャナー使用、または利用カードと資料のバーコードを並べて写真撮影しても貸出記録を残せる)利用案内、行事のチラシなども配付し、「返却はお近くの図書館の窓口に」と、図書館に足を向けてもらうきっかけにできる。

評価

A

6子供サービスの充実と学校図書館支援

(1) 生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための読書環境の整備

イベント開催数 1,042 回
参加人数 18,781 人
展示の回数 601 回

・乳幼児や保護者、ヤングアダルト等各世代を考慮した資料の収集

児童書新規購入数：中央 3,661 冊(含 BM)・地域図書館 12,073 冊

スペースや予算の制約がある中で、各世代まで行き渡る十分な資料収集ができたとは言えないかもしれないが、後述の YA コーナーの充実などで学生へのアプローチに工夫をする等、資料の利用促進に繋がった。

・館内外での子供と本をつなぐイベント

◆図書館内

定例のおはなし会(全館)

☞感染対策(距離がとれない場合は、演者がフェイスシールド着用か透明パネルを設置。人数削減。大人はマスク着用)のうえ実施。

「突然おはなし会」(新長田)4月～

実施時間を定めず、子どもの来館数が多いタイミングで行うスタッフによるおはなし会

「おはなしプレゼント」(北)・「おはなしびっくり箱」(北神)

絵本(キッズ)コーナーを訪れる子どもへ随時実施する、スタッフによる小さなおはなし会

「おうちで楽しむ絵本の選び方～赤ちゃんと絵本を楽しもう～」(東灘)6/15 15人 NPO法人「絵本で子育て」センター

安達光生氏による絵本の読み方、選び方の入門講座

「アニメーション～本であそぼう」(灘)計2回 計15人、(新長田)計4回 30人 連携：あにましおん探偵団

「影絵の世界」(灘)計6回 71人 影絵劇団白つめくさ

「おもちゃ to 絵本2」(兵庫)5月～

親子のための情報コーナー近くの本棚の上で、絵本にちなんだ木製のおもちゃ等と関連の絵本を展示。2か月毎に展示変えを実施。連携：MomLabo(ママラボ)

◆子ども読書週間行事等(春)

「おうちで楽しむ絵本の選び方～幼児と絵本を楽しもう～」(東灘)計2回 26人

「よるのさんぽ～ぬいぐるみのおとまり会～」(垂水) 4/29～5/5 5人

お預かりしたぬいぐるみが図書館におとまりする様子を撮影し、アルバムにしてプレゼントすることで、子供達の図書館への興味の一助とするイベント

「みんなでトライ♪「図書館ビンゴ」に挑戦しよう！」(中央) 4/22～5/15 47人

「スタンプラリー「わかるっかな？知っとことしょかん」」(西) 4/26～5/15 84人



「灘図書館キャラクターお名前投票」(灘) 4/19～5/15 1209人

スタッフ作成のパンダのイラストに、3つの候補から選んで投票してもらった。

「変身！須磨図書館が水族館に！？」(須磨) 4/1～5/24 929人

貸出冊数に応じて配布する「生き物シール」を壁紙に貼り付けてもらう参加型イベント

◆夏休み行事等(夏)

「夏休み講座「読書感想文、にがてな人あつまれ！」」(中央) 8/9 計2回 31人

「おやこ交通安全教室」(東灘) 8/31 8人 東灘警察署

東灘警察署による自転車の安全な乗り方についての講座

「夏休み読書クイズ！ラリー「謎解き宝島 北神図書館大冒険(第1回)」」(北神) 7/26～7/31・8/16～8/21 計237人

小学生対象に児童図書コーナーを宝の地図に見立て、クイズラリーを展開

「防災工作教室「おりがみを楽しもう」」(垂水) 9/10 7人

◆読書週間行事等(秋)

「としょこちゃんとピクニックへ行こう！」(兵庫) 10/4～11/13 28人

兵庫図書館キャラクター「としょこちゃん」とピクニックに行ったら食べてもらいたいお弁当の絵を募集。家に持ち帰ったり、親子で館内の児童コーナーで描いてくださった力作が集まり、児童コーナーの壁面に展示。

「スタンプカード「北神図書館で秋の収穫祭！」」(北神) 10/15～11/13 253人

「あっち？こっち？たんけん！クイズラリー」(西) 10/15～11/13 159人

ヒントになる本を館内各所に展示したところ【宝探しのようで楽しかった】

「親子工作教室「おうちにあるもので万華鏡を作ろう」」(須磨) 10/29 8人

「工作会「ハロウィンにきみも魔法使いになれる！マジック工作☆」」(新長田) 10/30 5人

「図書館ミニツアー」(中央) 11/5 9人

【自動車図書館や地下書庫など、普段は見られない場所が面白かった。】

「FUN FAN BOOK PARTY!(おはなし会)」(垂水) 11/19 16人 英語を交えたおはなし会。

感染防止用の透明パネルに飾り付けを施し、英語の歌やからだ遊びをプログラムに組み込んだ。【英語の絵本はなにを言っているのかはわからなかったけれど、楽しかった】

◆秋以降の行事

「だるま森の波流音(はるおん)ハーブと紙芝居」(新長田) 11/23 22人

だるま森氏、えりこ氏をお招きし、著書『なんだべの木』の読み語りと波流音ハーブや創作楽器の演奏を行った。

【チラシを見て参加したが、図書館が本を借りる以外にもこんなにいろいろなイベントをやっていると知らなかった。】【区の広報紙を見て初めて図書館に来たが、子どもがだるま森さんの絵本を借りたいと言うので手続きしたい。】

「ストーリータイム～えいごのおはなし会～」(名谷) 12/3 35人

「図書館探検隊「図書館のなかでかくれんぼ たるん・ハゼミン・アミーミーつけた！」」

(垂水) 3/4・3/5 計28人

館内にキーワードを持った図書館キャラクターを配置。キャラクターたちを探しながら館内を紹介。

「防災工作教室」(須磨) 3/11 8人

『地震がおきたら』(大型絵本)の読み聞かせと防災工作として新聞スリッパを作成。

◆図書館外

「出前おはなし会」(北)計12回 98人 於:NPO法人ポプリ

(北神)計4回 85人 於:児童発達支援センターおかば学園

(垂水)7/27 42人 於:東垂水児童館・9/21 34人 於:愛垂児童館

「ふたばえほんの会」(新長田)計9回 49人 於:ふたば学舎

「まめおはなし会」(須磨)計11回 101人 於:たかとり児童館

「こどもワクワク食堂での読み聞かせ」(兵庫)計6回 182人 於:国際交流シェアハウスやどかり

“「親子で楽しむ料理教室「おはなしたべちゃえ！」”(西) 於:玉津南公民館

第22回プリンアラモード編 7/2 8人

【私はプリンがあまり好きではなかったけど、今日作ったプリンはおいしかったです。クリームソーダも気に入りました。作るのがとても楽しかったです。】

第23回カレー&ナン編 1/14 6人

㊦感染症対策として人数を半分に減らし、参加前の検温、手指消毒、調理台1台につき1組で距離をとり、器具・材料等を共有しない形で実施。

「海の日を絵本で楽しもう 夏のおはなし会」(新長田)7/18 21人 於:兵庫県立神戸生活創造センター

「図書館えんにち」(北)8/15 75人 於:北区文化センター

自動貸出機のレシートを入场券にして、わなげ、てづくり金魚、魚つりを楽しむ。

工作、お祭り、遊びなどの関連図書も展示。

「長田児童館工作会」(新長田)8/17 25人 於:長田児童館

工作に関連した絵本の読み聞かせ。

「夏休みこわ〜いおはなし会」(新長田)8/26 36人 於:志里池児童館

「「みる・きく・さわる」〜“りか本”のよみきかせワークショップ〜」(三宮)計3回 25人

於:バンドー神戸青少年科学館

「キッズクッキング〜ハロウィン弁当づくり〜」での出前おはなし会(東灘)10/22 30人

「キッズ&ファミリークッキング」でのミニブックトーク(東灘)3/25 5人

於:東灘区文化センター 東灘マスターズ(食親同好会)

「いきものおはなしかい「生き物しらべin住吉川」」(東灘)12/3 6人 於:住吉川

「クリスマスを楽しもう おはなし会とワクワクあそび」(新長田)12/7 13人

於:兵庫県立神戸生活創造センター

「こども本の森1周年記念イベント」(中央)3/25 於:東遊園地南エリア

出前おはなし会(53人)「図書館バッグを作ろう」(82人) (5-(3)へ再掲)

◆乳幼児と保護者向けサービス

「だっこでおはなし」(中央・東灘・三宮・兵庫・北・北神・新長田・須磨・垂水)

児童館等に出向いて、乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせや紹介を行うプログラム。

「にこにこひろば」(兵庫)9月・10月・11月・12月 計5回 92人

区内保育所の保育士によるふれあい遊びや手遊び、図書館スタッフによる読み聞かせや本の紹介、こども家庭局・地域子育て支援担当による子育て相談。

「ほのぼのひろば」(新長田) 計8回 46人

「えほんとであおう」(三宮) 計8回 156人 於:おやこふらっとひろば

「すくすく赤ちゃんセミナーオンライン」(中央)

4月 114人・7月 132人・10月 204人・1月 230人

こども家庭局主催 Zoom 生配信による乳児と保護者向け講座。図書館は「絵本の楽しみ方」を担当

「すくすく赤ちゃんセミナー」(中央館以外の全館で実施)

「大人もこどもも楽しめる絵本の世界」(須磨)10/28 10人 連携:区まちづくり課、南須磨

	<p>地域福祉センター</p> <p>「乳児検診会場（4か月検診）における読み聞かせ」（新長田）3/17 50人 於：長田区役所</p> <p>「もう一度！お名前プレゼント♪」（垂水）計2回 16人</p> <p>子どもの名前の文字を使ったあいうえお作文を親が色紙に書いて子どもにプレゼント</p> <p>「絵本でつながる子育て」（北神）3/9 20人 連携：NPO法人 場とつながりの研究センター</p> <p>絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び。子育てのお話や相談会。（3-（3）再掲）</p> <p>◆YAコーナーの充実を中心とした青少年層への読書推進</p> <p>「ユースステーションと図書館で謎解き！pre-view」（垂水）3/20～3/31 3人</p> <p>ユースステーション垂水に1問、垂水図書館YAコーナーに1問問題を設置。クイズに回答することで、オリジナルのブックカバープレゼント。</p> <p>「10代のためのYA POP コンテスト@ほくしん」（北神）7/1～9/30 応募11点・投票237票</p> <p>「POP コンテスト」（北）10/21～11/30 応募59点・投票88票</p> <p>「POP コンテスト「あなたの『熱本』伝えませんか？」」（名谷）11/12～11/30 応募7点・投票42票</p> <p>「啓明学院高等学校文芸部×三宮図書館コラボ企画」（三宮）11/2～11/30</p> <p>文芸部員製作のPOPと本、部誌を共に展示</p> <p>「ハロウィンいけばな」（北神）10/29</p> <p>近隣の生け花教室の高校生ボランティア「ブックファームガーデン」による、利用者参加型のいけばな制作</p> <p>「高校出前授業」</p> <p>夢野台高校「絵本の読み聞かせ講座」9/9・1/13、「子どもの発達と保育」（兵庫）9/16・10/7</p> <p>伊川谷北高校（垂水）11/29・12/13</p> <p>「橘タウンミーティング」（兵庫）11/14 於：神戸市立神港橋高等学校</p> <p>兵庫区・神戸市の多様な分野で活躍する地域の人（個人・団体・企業問わず）を「達人」として、その活動内容を高校2年生が直接聞く。地域への関心を高め、神戸を支える「人財」育成に繋げる取り組みに兵庫図書館長が講師として参加。</p> <p>「to youth…よんどく？」掲示（新長田）毎月</p> <p>長田区文化センターユースステーション内掲示版にて図書館員おすすめのYA向け図書の紹介。</p> <p>「ぶらっと一言コーナー」（新長田）毎月</p> <p>「YA向け読書案内「なによも」」ユースステーション長田にて配布（新長田）</p> <p>「ほんのわ」発行（北）毎月 館内とすずらんだい児童館にて配布</p> <p>「YA向け！紹介されてると読みたくなる本」掲示（北神）毎月</p> <p>「YAかわら版」須磨区文化センター2階の学習室前に、中高生向けの情報版を設置。</p> <p>「本のわコーナー」（名谷）「おたよりコーナー」（西）</p>
<p>イベント開催数 14回</p> <p>参加人数 164人</p> <p>展示の回数 6回</p>	<p>・小・中学生への調べ学習支援(調べ学習イベント、パスファインダー作成等)</p> <p>「クラゲとなかよしになろう」（垂水）6/17 18人</p> <p>連携：ボランティア「たるみ水母クラブ」スタッフ</p> <p>クラゲのエサやり見学・たまごの観察、クラゲ豆知識講座、ブックトーク等</p> <p>「クラゲともっと！なかよしになろう」（垂水）11/6 16人</p> <p>連携：神戸動植物環境専門学校、ボランティア「たるみ水母クラブ」とスタッフ</p> <p>「「図書館を使った調べる学習コンクール」レプリカ&関連本展示」（東灘・灘・新長田・須磨・垂水）7月～8月</p> <p>「資料展示「読書のうみに潜ろう」」（垂水）7/20～8/31</p> <p>読書感想文や自由研究に役立つ本、パスファインダーのテーマ関連本などをテーマ別に展示</p> <p>「科学実験教室「電気を知ろう 木炭で電池を作ろう」」（名谷）7/24 13人</p> <p>「垂水の生き物博士になろう」（垂水）7/30 7人 連携：神戸市立平磯海づり公園</p> <p>「夏の調べ学習」（北）7/31 9人 文化財課 於：内田家住宅</p> <p>内田家住宅で子供向けの講座を開催。昭和の暮らしを体験学習し、新聞紙を使ったエコバッグを作成。（3-（1）の再掲）</p> <p>「自由研究に役立つ！パスファインダーを作ってみよう」（垂水）8/4 2人</p>

	<p>「てづくりサマーフェスタ「親子新聞教室」」(西) 8/13 12人 連携：神戸新聞地域創造 於：西区文化センター会議室</p> <p>「親子新聞教室」(須磨) 8/19 12人 (東灘) 9/23 14人 (三宮) 3/25 15人 連携：神戸新聞地域創造</p> <p>「プログラミング体験講座「ロボット『こくり』は動くかな?」(東灘) 10/29 9人</p> <p>「マイクラフトでSDGsを考えよう」(北神) 10/29 37人</p> <p>アンケートでは、参加者24人中20人がSDGsについて大変興味を持ったとの回答を得た。</p>
<p>(2) 学校園との連携</p>	<p>・団体貸出による資料提供</p> <p>「テーマ本集め」(西と三宮を除く全館) 貸出回数：274回 「総合学習用図書」の貸出(中央) 貸出回数：95回</p> <p>・幼稚園巡回図書の実施</p> <p>公立幼稚園29園、私立幼稚園12園 巡回回数 123回 4,920冊(中央)</p> <p>・学校図書係と連携した研修など、学校司書支援</p> <p>新規採用学校司書研修(中央) 4/20 17人 学校司書全体研修(中央) 4/26 約150人 於：総合教育センター10階</p> <p>・その他</p> <p>「出前図書館見学」(東灘・須磨・垂水) (5-(3)の再掲) 「出前授業」 小学校に於ける「ブックトーク・おはなし会・エプロンシアター」 (灘)「新美南吉」他・(兵庫)「しごと」他・(北)「日本と世界のむかしばなし」他 幼稚園・保育所に於ける「おはなし会」(三宮・北・新長田・須磨)</p>
<p>(3) 子供の読書活動推進に関わるボランティア等との連携や支援</p>	<p>・ボランティア団体との連携企画</p> <p>「おはなし会」等の定例行事でのボランティア導入・連携 …全館で30団体が活動 「夏休み特別おはなし会」(中央) 7/29 大人12人 子供19人 こうべ子ども文庫連絡会共催 「垂水区子育てサークル交流会」(垂水) 2/28 27人 乳幼児への読み聞かせのコツ、絵本の選び方など 「おはなし会講座」須磨 3/9 20人 図書館サービス(ネットワークサービス、団体貸出制度)についての説明</p> <p>・読み聞かせびと養成講座の開催</p> <p>神戸市内で読み聞かせなどの活動を始めたい、あるいは既に活動されているボランティア向けに、読み聞かせについての基本的な事項をベテラン講師から学べる講座を開講。基礎コースと応用コースがあり、各5日間受講する。平成12年度に教育委員会で開始、令和2年より図書館の所管。新型コロナウイルス感染症のため、2年間(R2・3)中止していたがR4春季より再開した。春季・秋季とも、募集時には、100名を超える応募があり、毎回、抽選を行っている。 (令和4年度のスケジュール)</p> <p>●読み聞かせびと養成講座 基礎コース(春季) 講師：一居明子先生 受講者21名 修了18名(5/11、5/18、6/1、6/15、6/29)</p> <p>●読み聞かせびと養成講座 応用コース(春季) 講師：藤澤晴子先生 受講者8名 修了6名(5/13、5/20、6/3、6/17、7/1)</p> <p>●読み聞かせびと養成講座 基礎(木曜)コース(秋季) 講師：野間泉先生 受講者21名 修了20名(10/20、10/27、11/10、11/17、12/1)</p> <p>●読み聞かせびと養成講座 基礎(金曜)コース(秋季) 講師：藤澤晴子先生 受講者21名 修了18名(10/21、10/28、11/4、11/18、12/2)</p> <p>●読み聞かせびと養成講座 応用コース(秋季) 講師：一居明子先生 受講者16名 修了12名(10/19、10/26、11/2、11/16、11/30)</p>

【図書館の自己評価】

- ・中央では、教育委員会事務局より引き継いだ「読み聞かせびと養成講座」を再開することができ、多くのボランティア活動を希望する市民の要望に答えることができた。
- ・コロナ禍の中、イベントは人数の制限はあるものの実施しており、多くの集客は難しいが、その分、今まで連携ができていなかった場所に図書館から出向き、新たな連携を結ぶことができた。
- ・YA世代の利用を伸ばす試みとして、前年度に引き続き、中高生によるPOPの作成などをコンテストとして行っており、作品数は少ないが投票数は多く、好評である。また、こうした試みを通じて、同世代の利用を伸ばすだけでなく、異なる世代が、若い作家や、新たな作品に触れる機会ともなっている。

【図書館協議会の評価・意見】

・「子どもサービスの充実」に関しては、イベント回数やその参加人数、展示の回数など、きわめて積極的な図書館サービスが実施されていることは、高く評価できる。ただ、公共図書館における児童サービスに関してもデジタル・ネットワーク社会に対応したアップデートが必要であり、例えば「子ども本の森神戸」や「あかし市民図書館」で実施されている親子を対象としたデジタル絵本作りのような「読む」「読み聞かせられる」だけでなく、「作る」「発表する」体験の提供が公共図書館の新たな任務と目標になってくると考えられる。・学校園との連携においても、例えば文部科学省「1人1台端末環境下における学校図書館の積極的な活用及び公立図書館の電子書籍貸出サービスとの連携について」（2022年8月2日付文科省地域学習推進課長名通達）の事例紹介「児童生徒に公立図書館の電子書籍貸出サービスのIDを発行している事例」に見られるように、東大阪市立図書館が運営する電子図書館（タイトル数4万7千点、うち、児童書約7,700点、2022年3月末現在）のIDを市内小中学校・高等学校に提供し、朝の読書活動等に活用することが重要である。 <https://current.ndl.go.jp/car/46611>・つまり「児童サービスDX（デジタル・トランスフォーメーション）」が喫緊の課題であり、新型コロナウイルス感染症拡大の中で世界的に顕在化した図書館間の格差（閉館すると全く資料提供が出来ない図書館と、電子図書等で提供可能であった図書館の格差等）を少なくし、神戸市立図書館として次世代に向けて、新たな児童サービスの展開に関するプロジェクトをスタートさせる必要があると考える。

・生涯に亘る読書生活、読書習慣のスタートとなる乳幼児に対する読みきかせをはじめとした、本を好きになってもらい、図書館も利用してもらうための取り組みとして評価できる。必ずしも正確に把握しているわけではないが、児童生徒が学校図書館で調べ学習をするには図書が貧弱なことが多いので、学校図書館と市立図書館をつなぐことも学校と連携協力していただきたい。

・コロナ禍の逆風の中で多彩なイベントを工夫して開いてきたことは評価したい。積極的に地域に出る活動を継続してほしい。

・「読み聞かせびと養成講座」の存在は知っていましたが、毎応募が多数あるとは知りませんでした。終了した方が色々な世代に向けて活動ができればいいなと思いました。子供向け企画がバラエティに富んでおり、各館工夫されているのがわかりました。

・読みきかせびと養成講座を受講して小学校で読み聞かせの活動をされている方も多くいる。子供たちの読書推進のためにも教員や学校司書と連携して活動してくれる方がさらに増えることを願っている。

・(1)おはなし会は、様々な対象年齢でそれぞれにふさわしい実演方で開かれており、図書館の指導と支援があって成果をあげているように見える。子どもは自分が楽しみながらおとなの楽しむ姿も見ている。真似ながら成長する子どもにとって、本を楽しむおとなは強い影響力をもつ読書環境である。だが、おはなし会の参加者が低年齢化しているので、小学生以上の子どもに対しても、おとなが本を楽しむ姿を可視化する取り組みがほしい。例えば、「おすすめ本カード」（親が子ども時代に楽しんだ本のタイトルを書き、子どもが絵やつぶやきを添える）を掲示する。貸出時にカードを渡して返却時に回収してもよい。日付を入れておき、古いカードから新しいカードに順次貼り替えられれば、掲示場所の大きさなど館ごとの事情に合わせて行える。・本が好きで、絵が好き、文章を書くのも好きという子は少数だが居る。YA本の帯や、簡単なおすすめポップの吹き出しなどを募集して面展で活用できないだろうか。子どもの口コミは大きな効果を発揮する。「家で作って持ってきてもいい」というように緩やかに始めてはどうだろうか。(2)団体貸出は充実しており、学校図書館でも効果的に活用されている。特に高価な外国語の絵本を図書館から借りられるのはありがたいと聞いている。(2)図書館作成のパスファインダーが各館に置かれていて素晴らしい。だが、あまり知られていないのではないかと聞いている。使い方講習会を開いたり、その様子をビデオにホームページからQRコードで視聴できるようにしたり、周知・活用のための工夫が必要である。(2)図書館作成のパスファインダーを全学校図書館にも置いておき、それぞれの学校で工夫と資料を付加してオリジナルのものを充実させていければよい。高学年以上の児童生徒ならオリジナル化に参加もできるだろう。(2)図書館員が学校にでかけ「図書館利用案内」をするの

は、子どもと図書館を結ぶ有効な方法だと思う。だが、すべての学校に対しては行うのは難しい。ビデオを作成して学校に貸出す、あるいは新年度に一定期間の限定配信をして各学校の都合よい時に視聴できるようにする。その他ミニブックトーク、新刊案内も同様にできるのではないか。対面、紙媒体、ライブ配信、アーカイブを組み合わせて、子どもたちに図書館の紹介と本の情報をもっと届けてもらうよう希望している。(3)ボランティアと協働するイベントについて、図書館からいつも手厚い支援を受けていると、ボランティアから感謝の声を聞くことが多い。(3)ボランティアに活動の機会を提供し、それに先立つ「読み聞かせ人養成講座」を用意しているのは素晴らしい。だが、養成講座を修了しても、実際に活動を続けていくには、活動グループごとに、準備打ち合わせをし、活動を振り返り、絵本やストーリーテリングの自主勉強会が必要である。図書館資料を使って行うので図書館の研修室を使えるのが有難い。だが、今年度から図書館での行事協力の回数に応じてしか研究室を借りられないことになった。市内の幼稚園・学校・児童館で定期的に活動していても図書館行事に協力していないグループは使えないため、他の会場を探し、時には有料の会場を使っている。図書館は全市的に読書ボランティア活動を支援する立場で、登録団体に対して研究室が空いていれば貸すという従来の形に戻してもらえないか。

評 価

A